



会 員 の 趣 味 ・ 特 技

株式会社 石田商会

代表取締役 石田 千治 氏

歌
うた

歌との出会い

小学校1年生の時に音楽の先生に歌の才能を見出され、紅白の垂れ幕がある式典の際に児童1200人の中から代表で歌唱されました。6年生の時に先生の勧めでラジオの童謡の番組に「ふるさと」の歌唱で出演されました。中学に入ってから催しなど父兄の前で歌う機会も多く、その頃から将来は歌手の道を目指し、東京に出ようと考えるようになりました。

遠藤実先生との出会い

上京後、各レコード会社の先生のレッスンを受けられた後、お知り合いの作詞家北村先生からのご紹介で、戦後歌謡界を代表する偉大な作曲家であり、舟木一夫、千昌夫、森昌子など多くの歌手を育てられた、遠藤実氏（当時日本コロムビア専属）に師事することになりました。入塾テストで「高校三年生」を緊張しながらも遠藤先生のグランドピアノ演奏で歌いきると「君はとてもよい声をしているな。今週土曜日からレッスンに来なさい。」とのお言葉を頂きました。遠藤先生直々にレッスンを受けること自体非常に希少な事なのですが、先生の個人レッスン料は、当時月10,000円。（昭和30年頃の公務員の初任給と同等程度。）金額に驚きつつも先行投資だと思い2年間遠藤先生の下で修業されました。2年後、卒業とデビューが近づいた頃には遠藤先生から「君は青春演歌歌手になりなさい。」とのお言葉を頂きましたが、迷われた末、「自身が歌でお金を稼ぐのではなく、聞いて頂く方に純粋に喜んで頂く道」をご自身で選択されました。遠藤先生はその事をとても残念がっておられ、石田氏のお名前の一文字をその後別の歌手の方に授けられたくらいです。



歌とともに歩んで

各方面から石田氏へ歌唱の要望は多く、議員さんの集まり・敬老会・県人会等、1000人以上の前で数多く歌われています。

また、カラオケ指導の要望に応え、39才から71才まで、ボランティアで教室を主宰され、常時2～30人の方、延べ80人以上の方に指導されてこられました。歌は聞くものだと思えば生徒さんが発表会などで自ら歌う楽しさに目覚められる様子は非常にやりがいを感じたとの事です。歌を通じて多面の方と交流を深め、人間関係を作れたのではないかと振り返られます。



感謝の気持ち

人生の師と仰ぐ遠藤実先生のお言葉は「人生も歌も山あり谷あり」座右の銘は、「常に人の立場になって考え行動する。」そして、「何事も「間」が大切である。歌でもブレスが必要、ゴルフも間が必要なように、間を取り一旦飲み込んでみることが余裕を生み、相手の立場に立って考えることもできるのではないかと思います。何事にも感謝の気持ちを大切にしていきたいと考えております。」と語られます。



縁あって船場太郎氏主催の第一回ゴルフコンペに参加優勝



オーケストラの演奏ふるさとを歌唱

※YouTube:「石田千治」で検索⇒

石田氏の「高校三年生」・「ふるさとの空」

「ふるさと」・「北国の春」などがご覧になれます。